

第4次県立病院中期経営目標の概要

I 策定の趣旨

県立病院の経営は、平成28年度から令和2年度までの5年間を目標期間とする第3次中期経営目標に基づいて行ってきましたが、人口減少、少子高齢化の進展による医療需要の変化のほか、国の医療費抑制や消費税率の引上げ、働き方改革の推進、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。

このため、3つの県立病院の現状を分析し、それぞれの病院が抱える課題を整理した上で、令和3年度からの5年間を目標期間とする新たな中期経営目標（第4次中期経営目標）を策定するものです。

II 目標の位置づけ

「中期経営目標」は、病院開設者である知事と病院経営の責任者である病院事業管理者との合意目標（約束）であり、全病院に共通する「経営理念」、「基本目標」及び「経営方針」を明らかにするものです。

また、中期経営目標と関連する「持続可能な開発目標（SDGs）」は、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」「8 働きがいも経済成長も」「11 住み続けられるまちづくりを」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の5つです。

III 目標期間

令和3年度から7年度までの5年間

IV 第4次中期経営目標

1 経営理念

「最適・最善・最新の医療」を提供し、「県民とともに歩む県立病院」づくりを目指します。

2 基本目標

- 県民医療の充実を図るため、より質の高い医療の提供と患者サービスの向上を目指します。
- 県立病院の持続的・安定的な運営を行うため、病院事業会計全体で単年度資金収支の黒字化を目指します。

3 県立病院の役割（目指すべき病院像）

（1）中央病院

県の基幹病院として、高度急性期医療に特化した機能を十分に活用し、三次救急医療や災害時医療、へき地医療など民間で対応困難な政策医療をはじめ、がん・心疾患・脳血管疾患医療等の高度医療・先進的医療に重点的に取り組み、他の医療機関との役割分担と機能連携の強化の下、全国トップレベルの医療を提供する「県民医療最後の砦」としての役割を担います。

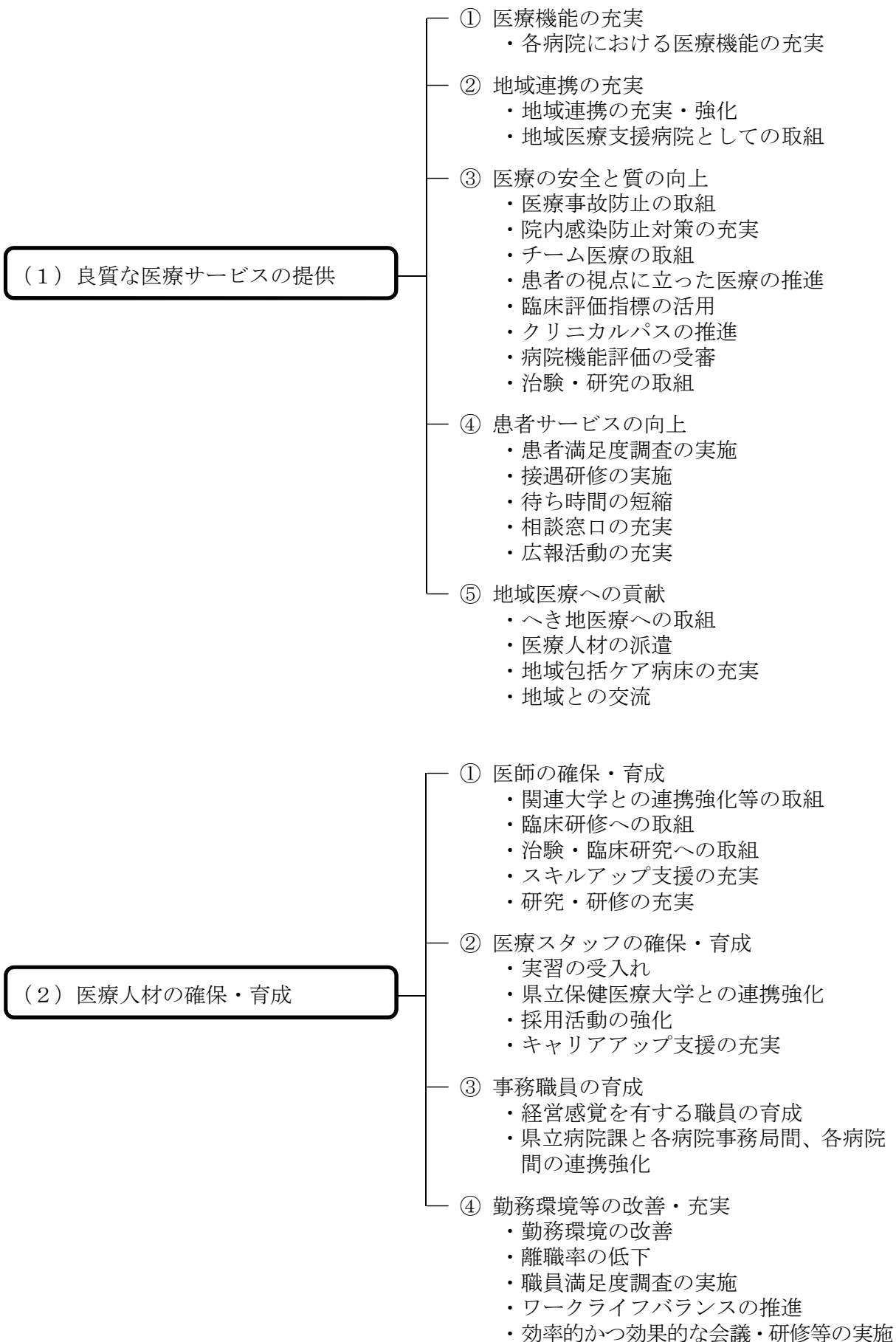
（2）丸亀病院

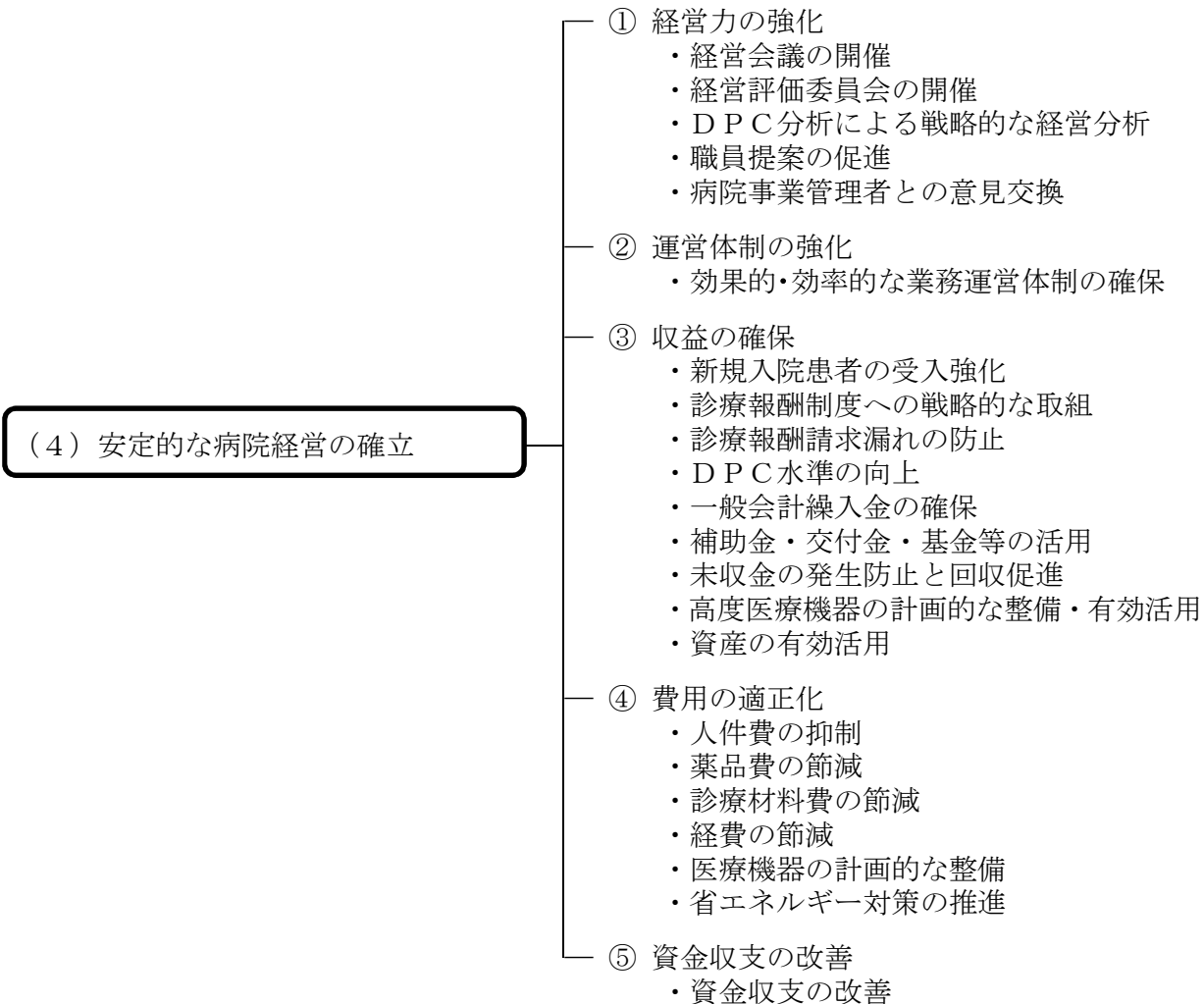
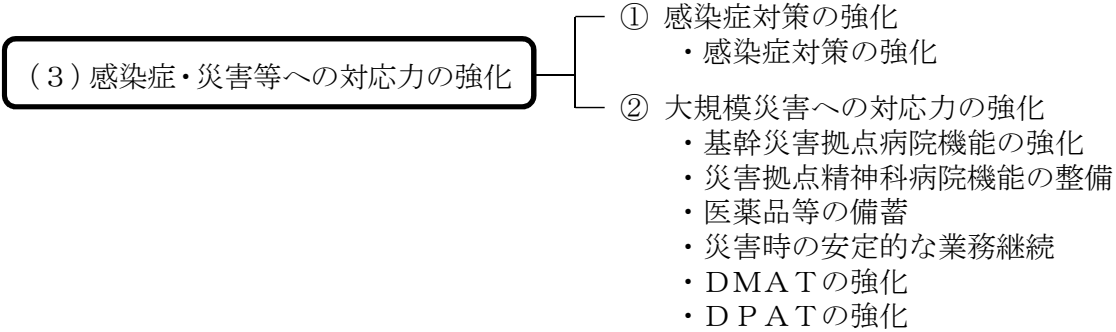
精神科救急・急性期医療に重点的に取り組むとともに、思春期精神医療、ストレスケア医療の提供や精神疾患を有する結核患者等の合併症患者の受入れ、医療観察法に基づく指定通院医療機関の指定を継続するなど、「県の精神医療の基幹病院」としての役割を担います。

（3）白鳥病院

専門性の高い循環器医療や高度医療の提供を行うほか、地域の医療ニーズを踏まえ、二次救急医療や小児医療、へき地医療などに取り組みます。また、地域包括ケアシステムの構築に積極的に参画し、「特色のある地域の中核病院」としての役割を担います。

4 経営方針





V 評価と見直し

1 外部評価の実施

中期経営目標の進捗状況等については、毎年度、外部の有識者で構成する「香川県立病院経営評価委員会」において、幅広い視点から検証を受け、その意見・提言を病院経営に生かしてきたところであり、今後も、同委員会による外部評価を実施します。

なお、外部評価の結果や中期経営目標の進捗状況等については、病院局ホームページにおいて公表します。

2 外部環境に対応した目標の見直し

中期経営目標は、県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、新公立病院改革ガイドラインや地域医療構想、保健医療計画のほか、外部評価の結果等を踏まえ、適宜、見直しを行います。

VI 目標一覧

| 目 標 | 指 標 | 令和元年度 実 績 | 令和7年度 目 標 | 【参 考】 令和2年度 実績(見込み) | |
|-----------------|--------------------------|----------------------------|----------------------|---------------------------|-------|
| 良質な医療サービスの提供 | 患者満足度調査による満足度 | 入院 91% 外来 90% | 入院 90%以上 外来 90%以上 | (調査未実施) | |
| | 認定看護師数 | 25 人 | 37 人 | 25 人 | |
| | 救急車搬入患者数 | 中央病院 3,727 人 白鳥病院 640 人 | 3,540 人 700 人 | 3,171 人 562 人 | |
| 医療人材の確保・育成 | 医師充足率 | 98.2% | 100% | 100% | |
| | 新卒看護師の離職率 | 13.6% | 9.3% | 25.5% | |
| 感染症・災害等への対応力の強化 | 感染症に対応する体制の確保 | (新設) | 確保 | 確保 | |
| | DMA T数 | 中央病院 7 チーム | 6 チーム | 6 チーム | |
| | D P A T数 | 丸亀病院 (新設) | 4 チーム | 4 チーム | |
| | 業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数 | 中央病院 丸亀病院 白鳥病院 | (新設) | 年1回以上 | 年1回 |
| 安定的な病院経営の確立 | 稼働病床利用率 | 中央病院 | 80.6% | 80.0% | 69.3% |
| | | 丸亀病院 | 61.1% | 70.5% | 58.5% |
| | | 白鳥病院 | 61.9% | 75.5% | 56.6% |
| | 患者紹介率 | 中央病院 | 76.2% | 80.0% | 88.6% |
| | | 丸亀病院 | 17.4% | 20.0% | 17.4% |
| | | 白鳥病院 | 29.1% | 35.0% | 45.4% |
| | 患者逆紹介率 | 中央病院 | 83.5% | 84.0% | 99.3% |
| | | 丸亀病院 | 25.2% | 26.0% | 26.0% |
| | | 白鳥病院 | 25.6% | 30.5% | 25.2% |
| | 後発医薬品割合(数量ベース) | 中央病院 | 88.7% | 88.0% | 91.3% |
| | | 丸亀病院 | 38.9% | 80.0% | 61.7% |
| | | 白鳥病院 | 78.3% | 85.0% | 84.8% |
| | 人件費比率(退職給付費を除く) | | 49.9% | 55.2% | 59.8% |
| 単年度資金収支 | | △515 百万円 | 黒字化 | 2,168 百万円 | |